

第2回 第6次総合計画審議会 議事録

日時：令和3年8月4日（水）

会場：ミラ・フード館 ホール・ミラ

1. 開会

沖津副会長：暑い中お集まりいただき感謝。本日もよろしくお願ひしたい。

2. 会長挨拶

小山会長：本日はアンケートに答えていただき、皆さんから御意見をいただく。

村民である皆さんの意見を吸い上げたいということである。

色んな意見をお願ひしたい。

3. 議題

(1) 村民アンケートについて

SCOP：(資料1にもとづき説明)

1 アンケート調査の背景と目的

- ・村の今後の課題は、「住みやすさ」を維持しながら、山形村ならではの個性的な魅力や、村民の誇り・愛着につながる村のアイデンティティをつくっていくこと。住民の皆さんに、総合計画づくりに関心をもってもらうとともに、広くご意見をお寄せいただく。

2 アンケートで聞く内容

①住民自身が、地域の活動にどの程度参加しているか

地域の支え合い促進に向け必要な対策を考えるために聞く。

②これまでの村の現状を評価

今後優先的に取り組むべき施策を明らかにする。

③これからの村づくり

将来どのような村になったら良いか等を聞き、村が目指す姿や基本的な理念のアイディアとして活用。住みがいをつくるための施策のアイディアとして活用。

3 これからご意見いただくこと

- ・より多くの皆さんに回答していただきたい。答えやすさ、親しみやすさという点で、皆さんに御協力いただけるような工夫を凝らしていきたい。どうしたら関心を持ってもらえるかというアイディアをお願ひ。

聞くべきことは聞きつつ、負担の無い範囲で作りたいと思っている。分量や負担感の部分でもご意見いただければ。

小山会長：アンケートの目的等について、概要を説明していただいた。可能な限り回収率を上げ、真摯に受け止めていただけるようなアンケートにするにはどうしたらよいか、ということについて、これからご意見をいただきたいということである。この段階で、質問のある方は。

(質疑)

小出委員：調査対象について

無作為抽出 2500 人について、6 地域各々で数を絞っていくという解釈でよいか。

企画振興課長：なるべく人口割考慮しながら按分をかけ、平均的なアンケートをとる。

小出委員：清水高原に住む人、どこに所属するか。

清水高原はほぼ高齢化率 100%。そういう人達の意見をどのように取り入れていくか、考えてほしい。

企画振興課長：扱いは今後検討していきたい。

様々な年代の方から御意見をいただきたい、という思いが根本にある。

百瀬委員：第 5 次の際は、何人で回収率はどのくらいだったか。

無作為抽出 2500 人を対象にするとのことだが、この数字はどう決定したか。

企画振興課長：18 歳以上の村民に対しアンケートを実施、有効回収率は 37.9%。

SCOP：2500 人の根拠であるが、こういった社会調査を行う場合、住民全員から回答を得なくても、ある程度予測できるとされているため、無作為抽出という方法で行う。回収数が増えれば増えるほど、全体の誤差が小さくなるが、一般的には 400 通以上集まるとある程度の精度があると言われている。

2500 であれば、4 割でも 1000 通集まる。最終的にはそのくらい集めたいと思っている。

小山会長：第 5 次の際は、18 歳以上の住民 4238 名を無作為抽出し、有効回収数が 1605 名であり、回答率は 37.9%。

可能な限り本当は 6 割以上回収できれば良いが、最低限 400 名の回収を目指し

たい、ということで、今回はネットでの回答も考えているということかと思う。

小出委員：18歳以上ということだが、若い人たちの意見はどのように計画に落とし込むのか。

SCOP：全体の調査や住民参加の計画の中では、小中学生はワークショップを行ったり絵を描いてもらったりする機会を設け、意見を聞くという想定である。

小出委員：高校生は。

地域振興係長：大学生は成人式参加者を対象にアンケートを行う予定。

高校生は、メッセージツリー等を使って意見を吸い上げるつもり。

小山会長：ご意見をいただければ、いろいろと意見収集の方法を考える上でも参考になる。

これからアンケートをやっていく中で、気づきがあったらどんどん出していきたい。

(2) 村民アンケートに答えてみよう

【やること】

①実際にアンケートに答えてみる

15分間でアンケートに回答していただく。

②印象を共有する

設問の分かりやすさ、答えやすさ等について、グループ内で意見交換。

③よりよいアンケートへの提言

グループごと意見をまとめ、特に改良を加える点や検討すべき部分についてご発言いただく。

【意見をいただきたいこと】

- ・分かりやすさ、答えやすさ
- ・ボリューム感

(実際、15分間では終わらないと思うが、総合計画が行政のすべての分野に関わる計画であるということを念頭に考えていただき、感覚を教えてください)

- ・どうしたら関心を持っていただけるか

等

- ・今回は意見記入シートを用意した。

思ったことどんどん書いていただき、最後に回収させていただきたい。

【アンケート回答】 ～15 分間～

【意見記入】 ～2 分間～

【グループ討議】 ～12 分間～

【まとめ】

◇審議委員 A グループ◇

・分野別の質問項目について

自分の生活に関わりの無い部分、正直分からない。(言っている事は分かるが…)

回答の選択肢に「わからない」を入れていただければ。

・一人世帯や二人世帯が多いし、多世代世帯でも生活スタイルが異なり、子ども達のことでも分からない人が多い。年代別のアンケートということも考えられないか。

・質問難しい。

・村づくりのアンケートなので、村の意向がどこかに見えるといい。「今、村はこう考えているが、皆さんはどう思いますか」というようなアンケートに。

・いかにも行政が自分たちの仕事を支えるために総花的に平均点をとる、特徴のない、通り一遍のアンケートになっているような気がする。中信地区で、地域のナンバーワンを目指すような施策項目について質問の中に入れてみては。

◇審議委員 B グループ◇

・字とかレイアウトが細かすぎてやる気が失せる。

・アンケートの中には、「何分でできるアンケート」みたいなものもある。時間がかからないようなものを目指してもらいたい。

・設問が細かすぎる。

・携わっていないことに関して、答えようがなく悩んでしまう。

・わからないところはスキップできるように。無責任なことアンケートには書けないという意見も。

・満足度と重要度の設問、多すぎる。かえって悩んでしまう。大体全部重要なのでは。

・連絡班の加入についての項目があるが、連絡班の加入問題は今大切な問題である。これ以後連絡班に関する設問がないので、もっと触れても良いのでは。これからますます重要な課題になる。

・県外に出ている人の意見を聞けると良い。

・15 歳くらいの方からの意見も重要では。簡単な内容でも結構なので。

◇審議委員 C グループ◇

- ・レイアウト見やすく。
- ・分野別の設問、「どちらかといえば～」を無くし、3つの選択肢にして答えやすくしては。
- ・そもそも問題多く、ちょっと疲れてしまう。もう少し短時間で答えられるようなアンケートに。
- ・4のこれからの山形村の設問、元気な段階で答えてもらっては。
- ・設問3など、コロナ禍において答えにくい設問もいくつか見受けられる。もう少し検討を。

◇審議委員 D グループ◇

- ・表紙が字が多すぎて、取り組むのに嫌になってしまう。絵も入れて、答えようと思えるような表紙になると良い。
- ・10代、20代にはもう少し分かりやすい方が良いのでは。年代によってはかなり答えにくいと思う。答えるのが難しい人は前半だけ、もう少し答えたい人はその先に進むようにするとか。住んで短い人はこれから先答えなくて良いとか。対象を分けたり、設問を分けたりすることはできないか。
- ・コミュニティ活動という言葉が分からない人、いるのでは。
- ・満足度重要度の設問は負担大きい。「どちらかといえば～」を無くし、3つに限定しては。
- ・不満の理由を自由記述で書かなければいけないので、だんだん「不満」と答えづらくなる。ページ構成もやりにくい。
- ・最後のページ、もっと自由に書けるようにしては。欄を大きく。
- ・問19-2 個人名を出すのはどうなのか。
- ・アンケートの回収率上げるには、回答した人には何か特典があるよ、というような工夫をしてみても。

◇幹事 A グループ◇

- ・項目に対して回答がねじれている。こういった実態がある、ということと満足度は別物と思う。分かっている人しか答えられないのでは。
- ・満足度と重要度は5段階⇒3段階に
- ・意見をフリーに書くところはもっと広く。
- ・属性に関する質問の量を減らしてはどうか。また、性別について、1・2を選ばない人がネガティブな言葉を選択することになってしまうのはどうか。
- ・今抱えている課題は、村民の皆さんも分かっているはず。アンケートもゼロからのスタートではなく、課題を示した上で回答してもらってはどうか。通常の計画づくりよりも時間があると思うので、例えばアンケートを二段階でやるとか。
- ・ボリュームのある資料。会議通知と一緒にいただけると事前に目を通せる。しっかり中身に目を通す時間が欲しい。

◇幹事 B グループ◇

- ・ほとんど同じ意見である。

◇幹事 C グループ◇

- ・問 13 について

質問していること 4 つあるが、項目によって該当するものとしなないものがある。

(今はやっているけど続けたくないとか、今はやっていないが、今後やってみたいとか、項目によって違う。) いっぺんに回答するのは無理では。

- ・字体を考え直してほしい。挿絵があつていい。

◇幹事 D グループ◇

- ・問 14 について

困っている事、手助けして欲しいことだけで良いのでは？

手助けできることは、「やらなければいけないのかな」という気持ちになり、負担感が出てしまう。

小山会長：いろいろとご意見いただいた。

最初に、資料 1 で「こんな意図で」と説明があった。

この短い時間ですべて考えろというのは難しかったと思う。

アンケートのベースライン「こういうことを知りたい、だからこういうことを聞く」というところをすり合わせるのは難しい。

最後にいただいた意見、共通している事あると思う。

答えやすくするにはどうしたらよいか、村の現状を知ったうえで答えていただくにはどうしたらよいか等。全てのことに関わっている人はいないと思うので、アンケートに答えるときにどういう風に取り捨選択して答えていただけるようにすべきか、そういうことを考えていく必要がある。

レイアウトはこれからいくらでも変えられる。

ネット回答を想定して作っているのかな、と感じた。紙媒体とネット回答は感覚的に違う。その辺を、ハイブリッドでやるということで今回提案していただいているということを考えなければいけない。(体裁のこと。)

内容のところは、分かりにくい等の部分については、議論しながらまたお諮りしたい。

せっかくやるなら有意義なものに。そのためにどうしたらよいか。

もう一度ご家庭に帰ったときに、もう一回見ていただいて、小中高校生のお子さんとも話題にしてほしい。

アンケートは作る側も聞きたいことが沢山あると、ボリュームも多くなってしまうが、答える側はなるべく簡単なアンケートが良い。いろいろな立場が交錯している。

いただいた意見についてしっかり検討しフィードバックさせていただく。

4. その他

事務局：アンケートはいったん持ち帰る。

全体の構成、設計の都合もあるので、対応できるところとできないところがあるが、可能な限り意見を反映させていきたい。

ただし、すべてを反映させることはできないのでご了承願いたい。

8月中にはもう一度フィードバックし、再度ご意見をいただいた上で実施したい。

・今後事務局で計画していること

◇成人式でアンケート

◇メッセージツリーを村内各所に登場させ、メッセージを集める

このほかにも、広報やHPで随時周知していく。

総合計画通信も気にしてもらいたい。

写真を撮らせていただいている。広報やHPでも使わせていただきたい。顔載せNGであればお申し出いただきたい。

・次回の審議会

アンケート結果の報告

基礎調査のデータ報告

10月下旬～11月下旬を予定している。早めにご連絡する。

5. 閉会

沖津副会長：時間ずいぶん延びてしまった。

ボリュームたっぷりでも時間制限もあり、ハードな時間となった。

様々な人を対象にしているアンケートなので、うまくフィードバックさせ、良いものができるとうい。